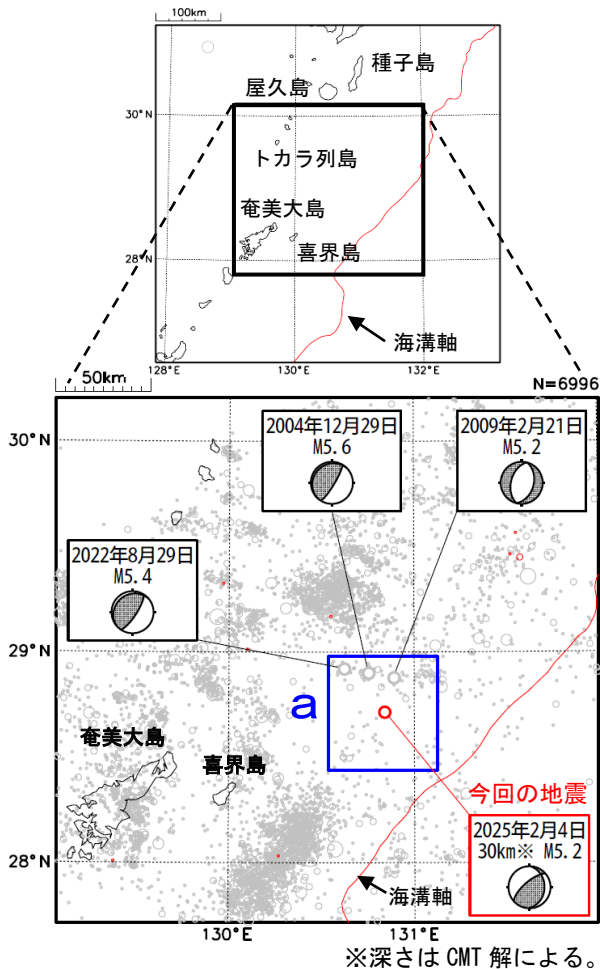


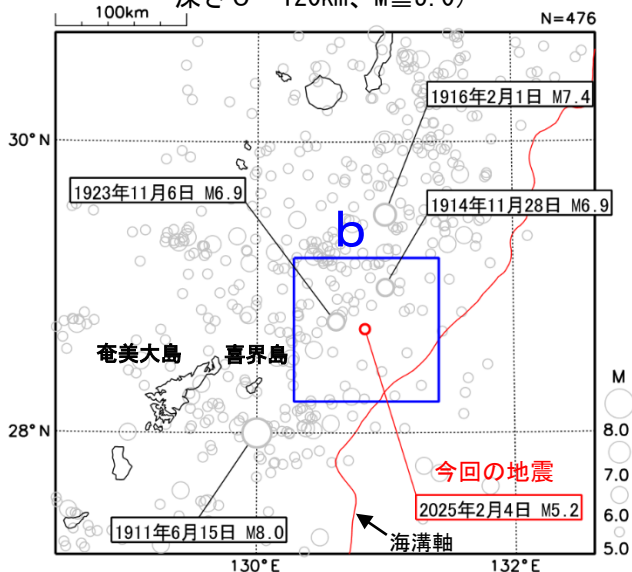
2月4日 奄美大島北東沖の地震

震央分布図
(1994年10月1日～2025年2月28日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)
2025年2月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解



※深さはCMT解による。

震央分布図
(1885年1月1日～2025年2月28日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)



（震源要素は、1885年～1918年は茅野・宇津（2001）、
宇津（1982, 1985）による※）

※宇津徳治（1982）：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年、震研彙報、56、401-463。

宇津徳治（1985）：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加）、震研彙報、60、639-642。

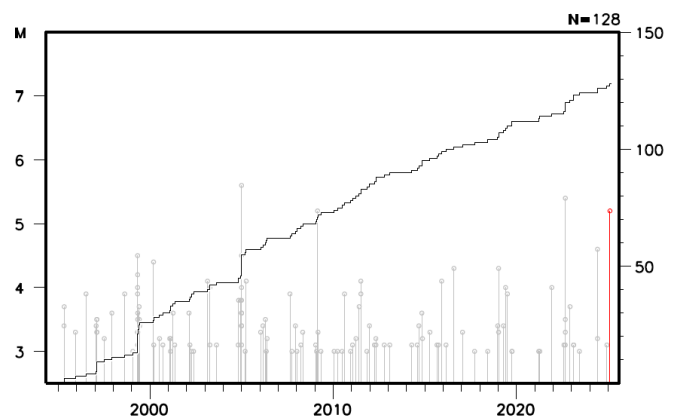
茅野一郎・宇津徳治（2001）：日本の主な地震の表、「地震の事典」第2版、朝倉書店、657pp。

2025年2月4日04時15分に奄美大島北東沖の深さ30km（CMT解による）でM5.2の地震（最大震度3）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。この地震の発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0以上の地震が今回の地震を含め4回発生している。2004年12月29日にM5.6の地震（最大震度1）が発生している。

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が5回発生している。1914年11月28日にM6.9の地震が、1923年11月6日にM6.9の地震（最大震度3）が発生している。また、今回の地震の南西方向約110km付近では、1911年6月15日にM8.0の地震が発生し、死者7人、負傷者26人、住家全壊418棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

